

「為大ニ寄任委員ハ自己、一就聯、屬江戸寄主
スルハ何事、取締十キ」送撫ナリ故ニ從來、
會費三元又五元ニ付上シニ寄任委員ニ
相當報酬ヲ與ヘントスト理由ニ道既之矣
計レ婦人公爵無ハ經濟、陶保上一派位上說
出知文公之レ反駁スル文、多數操作、總
果可決

考討竟文起草亦真上井直作三、兼倉義選
編、參議、未久同與、國策共二稿、其の趣ナル
所以不取、則、起草セトト、難能滿前之レ
方、直作十二月竟文

解雇ナリ兄弟、子大ニ交渉セラ

(兼倉義選編年譜固完)

第一回勝利の最後、立合書

一日電年譜、固完

4聯金會葛達、件

提出書、日本代表権田

5支那聯金會二樓龍都設置、件

提出、大修第ニ文部

少數為快

1青年團士養成、件

提出、大修第ニ文部

在蘇市義代表ト之年東七年二月開催、終因
興大會、狀況、總ニ開東側ハ開士、多
少壯年弱之子陶西側ハ於二十青年弱
、元氣漫測、之是アリテ率每ニ陶西